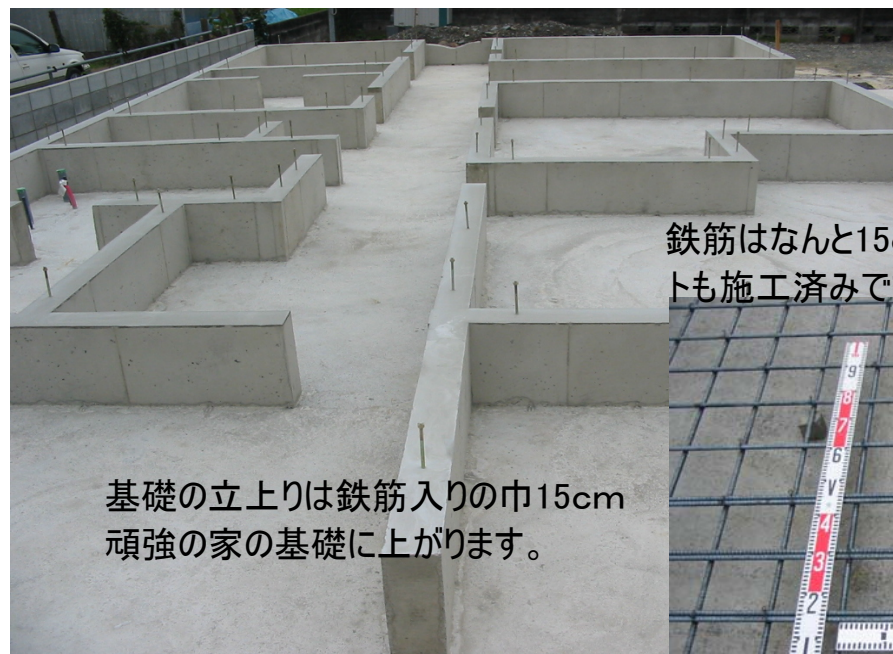


# 基礎

**基礎は最も強いベタ基礎工法を採用。**

ベタ基礎工法とは、基礎自体を一体の箱にしてしまい、剛性を高めた工法です。一番強い工法を採用しました。



鉄筋はなんと15cmの間隔に配置、防湿シートも施工済みです。

基礎の立上りは鉄筋入りの巾15cm頑強の家の基礎に上がります。



免震・防振・換気・耐久の



木造住宅の土台と基礎の間に設置する「キシゴム」は抜群の衝撃吸収能力で被害の最大原因となる横揺れの衝撃を弱めることができ交通振動、工事振動を抑えることにも、その効果を発揮します。また、新築時では剛性が高く耐震性に優れた建物でも、長時間にわたり振動や衝撃の繰り返して、徐々に接合部分が緩み、耐震性能が薄らいでいきます。「キシゴム」は鉄板を内蔵しているため垂直のひずみにも複雑な揺れにも十分垂直剛性が確保されます。

優れた振動・衝撃吸収能力は電車、トラック、工事振動なども緩和し快適な暮らしをお約

# フル装備の家

- 建築確認申請費用
- 地盤調査費用
- 設計費用
- 電気引込み工事
- 屋外給排水工事
- 工事保険費用
- 消費税

など含まれた家です。  
※浄化槽は別途です。

# 構造

**柱は桧のムク材 4寸角**

柱、土台、隅柱はすべて桧4寸角(12cm角)を使用。床の下地には構造用合板厚さ2.8cmを施工するため面剛性を保ち地震が加わっても歪まず力をバランスよく流すことができます。



プレカットされた木材は出荷まで大切に保管されます。木材は、在来木造の命とも言えます。1本1本厳しい目で選定されます。

## 主要構造材等一覧

土台	桧 特一等 120×120
柱	桧 特一等 KD 120×120(和室:桧集成)
隅柱	桧 特一等 KD 120×120
梁	米松 特一等 KD 120×120以上
床下地	構造用合板 厚28 (1F和室:杉板 厚15)